



箱根ジオパーク
Hakone Geopark

箱根ジオパーク ビジョン Vision for the future

箱根ジオパーク推進協議会
令和5年5月 日策定



◆ もくじ

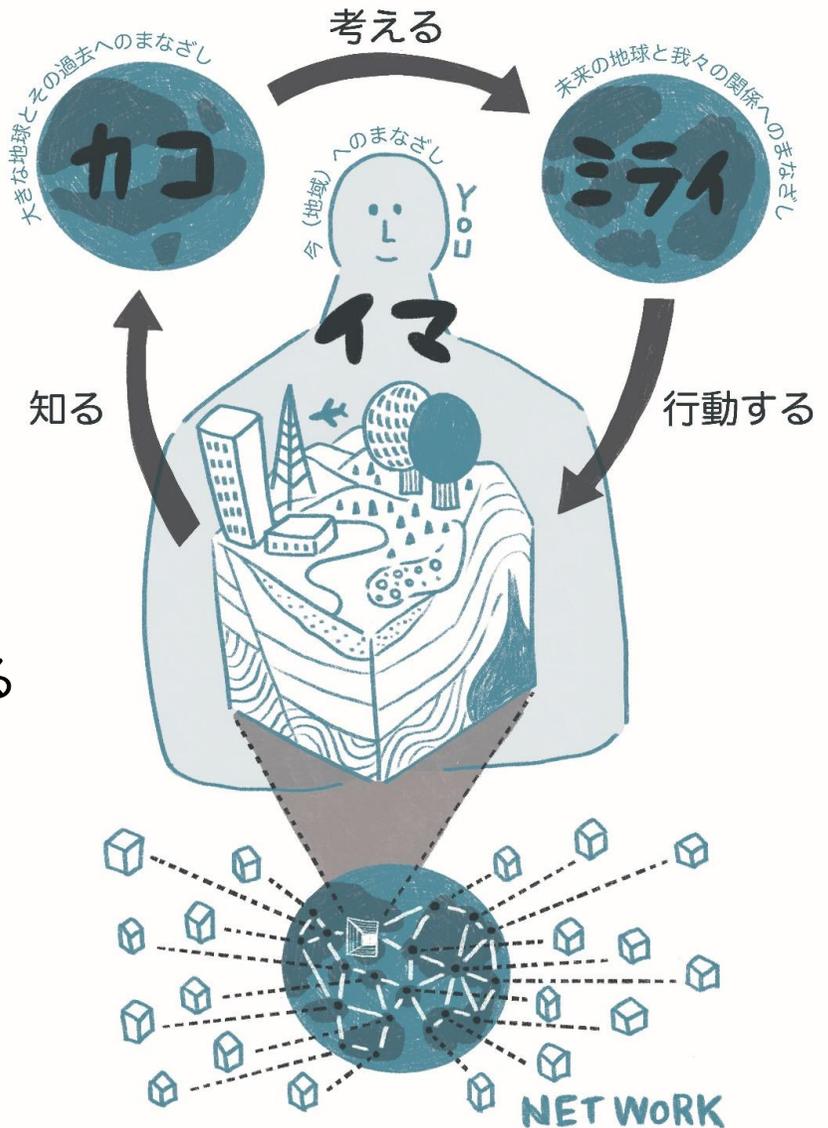
はじめに

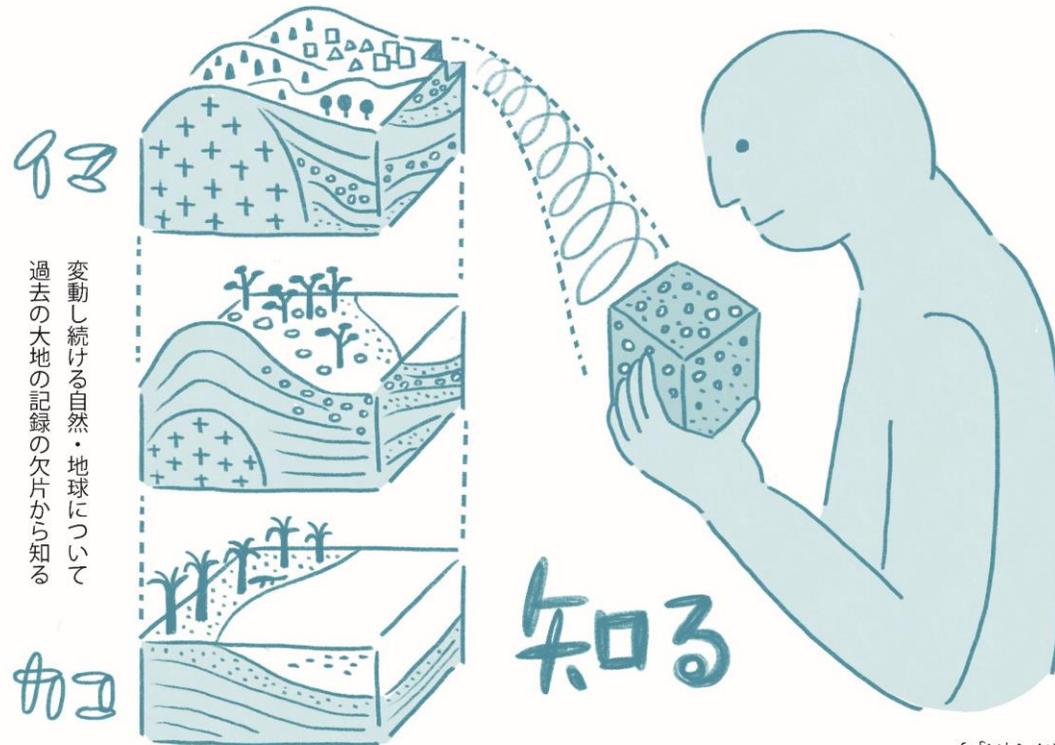
- 1 ジオパークとは
- 2 箱根ジオパークとは
- 3 箱根ジオパーク地域の抱える課題
- 4 課題解決のためのビジョン（素案）
- 5 ビジョン実現のための4つの行動（仮）
- 6 今後の流れ

1 ジオパークとは

地質・地形から地球の過去を知り、
未来を考えて、活動する場所です。

ジオパークとは、地球科学的意義のある
サイトや景観が保護、教育、
持続可能な開発のすべてを含んだ
総合的な考え方によって管理された、
一つにまとまったエリアです。



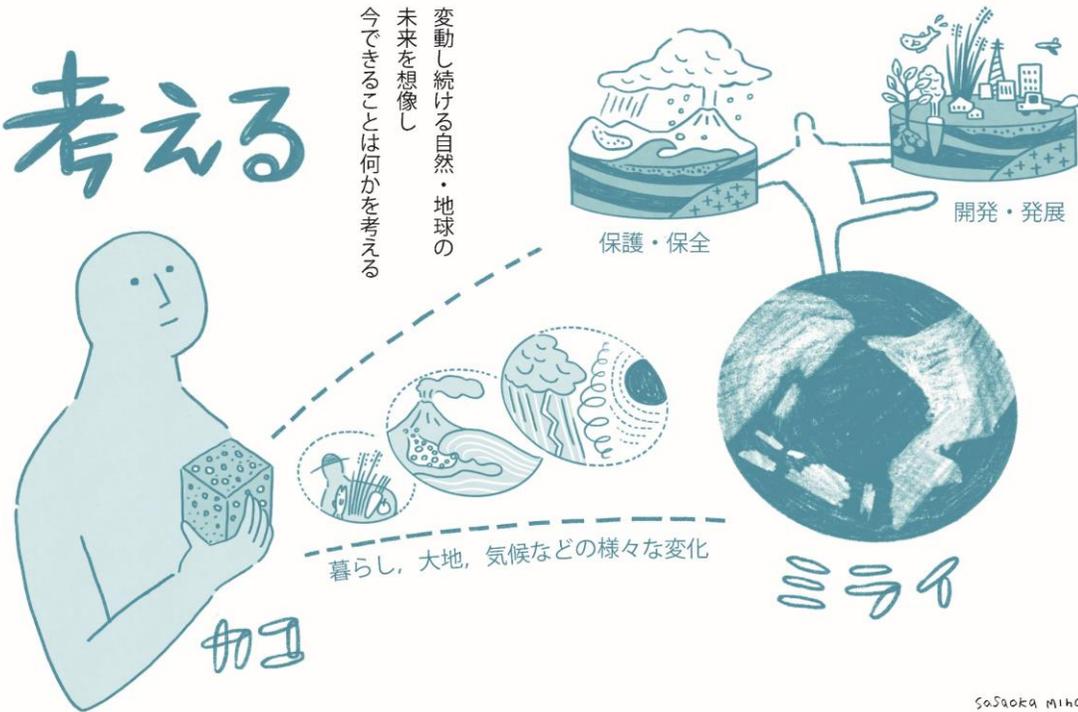


地質遺産から地球の過去を知ること、未来を思い描いて考え、現在の私たちが未来に向けてどのように行動するかが見えてきます。

ジオパークでは、地域住民が主体となって、ボトムアップの活動を進めます。そんな地域がネットワークとしてつながり、経験や知見を共有し、知恵を出し合って、持続可能な社会の実現を目指しています。

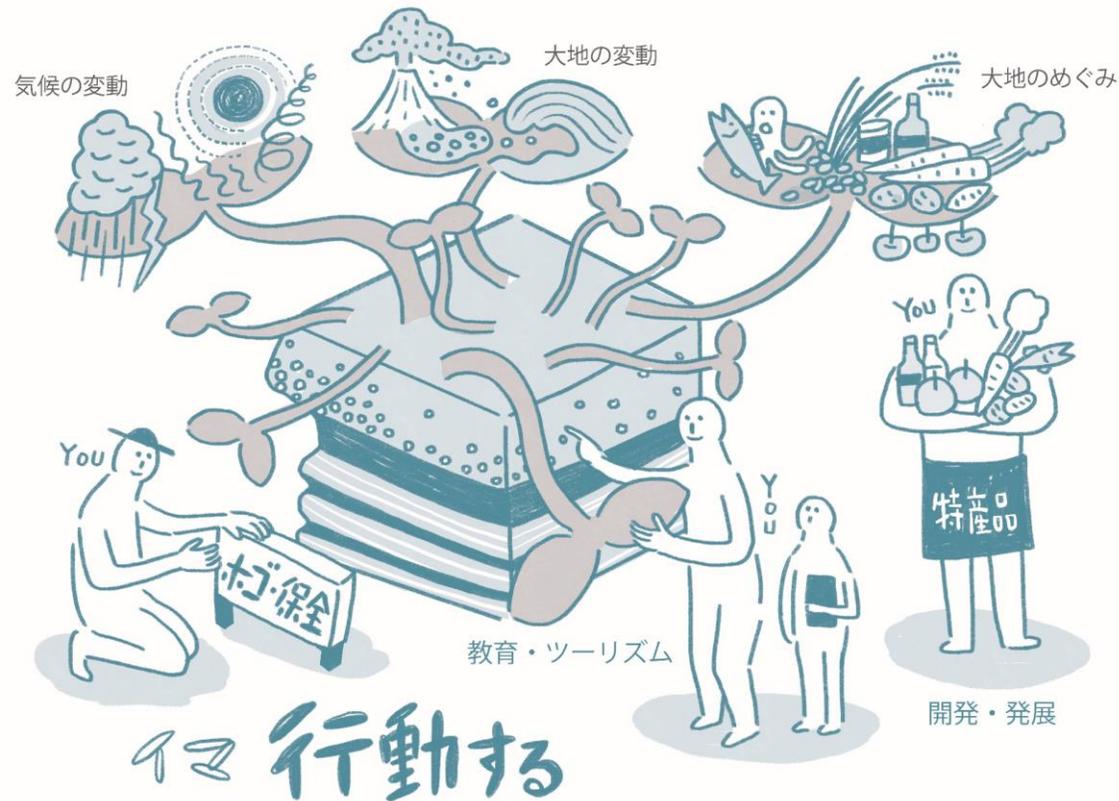
地質遺産から地球の仕組みや過去、大地の成り立ちを知り、それらが地球上の動植物や私たち人間とどのようにつながっているかをも知ることができます。

考える



例えば、山や川をよく見て、その成り立ちと仕組みに気づくと、今まで何とも思わなかった景色が変わって見えてきます。

また、その景色が、何千万年、何億年という途方もない年月をかけてつくられてきたことを知れば、私たち人の暮らしは地球の活動なしには存在しえないことも分かります。



未来のために今できる具体的な行動をおこす

SAsaka Miho

ジオパークは、地球資源を持続的に利用したり、気候変動の影響を緩和したり、自然災害の影響を軽減するといった、社会が直面している重要課題への意識と理解を高めるため、その地域のあらゆる自然・文化遺産と関連した地質遺産を活用しています。

ジオパークは、歴史と現代社会における地域の地質遺産の重要性について意識を高めることで、地域住民が自分たちの地域に誇りを持ち、地域と住民の一体感を強化します。地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムを通じて新たな収入源を生み出し、革新的な地元企業や新しい雇用、質の高い研修の機会を創出します。

2 箱根ジオパークとは

箱根ジオパークは、富士箱根伊豆国立公園に属する箱根火山を中心とする箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市の2市3町で構成されています。

神奈川県西部に位置し、北にはそれに連なる足柄山地、南には真鶴半島を含んでおり、その大半を箱根火山が占めています。

箱根火山は北側の足柄山地、丹沢山地と南側に続く伊豆半島を結び、日本の最重要交通路である東海道（**歴史のみち**）の障壁となり、江戸時代には有名な関所が設けられました。一方、このような地形的な障壁は豊かな生態系を支える緑の回廊（**自然のみち**）をなし国立公園にもなっています。

こうした地域特性を認識し、地質、歴史、文化、生態学的資源を維持保全するとともに、教育・観光資源として利用するための環境整備を図ることを目的とし「**北と南をつなぐ自然のみち 東と西をつなぐ歴史のみち**」をテーマに、**活動を推進**しています。



3 箱根ジオパーク地域が抱える課題

箱根ジオパークは、2007年に箱根火山が「日本地質百選」のひとつに認定されたことをきっかけに、「箱根火山」を教育活動や地域振興へ活かしていくジオパークの理念に一致し、ジオパーク認定に向け活動を開始。

2012年9月に「日本ジオパーク」に認定され、今年度で認定10周年を迎え、解説板の設置やガイド養成など、ジオパーク活動の基盤が整ったため、ここで、より明確な目的意識を持ち活動を推進するため、活動をステップアップし、2市3町内の連携によるジオパーク活動により地域の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

ついでには、箱根ジオパーク推進協議会の会員の皆さんを中心としたヒアリングやワークショップ等の実施により、「地域で抱える課題はどういったものか」、「箱根ジオパークがその強みを活かして、どのように課題解決に貢献できるか」を検討してまいりました。

主たる課題

- ・ 少子高齢化、人口流出、またそれによるコミュニティの希薄化
- ・ 地域資源（自然、文化、伝統など）の価値の認識不足による喪失の恐れ
- ・ 箱根火山や地震などの災害への備え

挙げられた地域課題を解決した先に描く「ビジョン（将来像）」は次のとおりです。⇒次頁へ

4 課題解決のためのビジョン (素案)

- ・ 自然資源を守り、いつまでもその恩恵を授かり続けるまち
- ・ 住むひと、訪れるひと、もてなすひとが環境配慮型の行動を取れるまち
- ・ 火山噴火を始めとした様々な自然災害を知り備えることで、リスクを軽減し、安心して暮らし続けられるまち

- ・ 地域住民が広く交流し、互いに助け合って、いくつになっても生き生きと暮らしていけるまち
- ・ 地域の事業者や団体、自治体が連携し合うことで、相乗効果が生まれ、効果的な情報発信、魅力的な商品開発を実現するまち
- ・ 歴史、伝統文化などが次世代へ引き継がれていくまち

守る～心休まるまち～

繋げる～交流あふれるまち～



箱根ジオパークビジョン
 住むまち 訪れるまち
 地域を守り歩み続ける 箱根ジオパーク
 ～海・山・人のハーモニー～



伝える～魅力を楽しみ語るまち～

活かす～訪れるひとが「ならでは」の体験ができるまち～

- ・ 地域の良さ・特性を子どもたちに伝えることで郷土に対する愛着と誇りが育まれるまち
- ・ 地域に暮らすひとが地元を理解し、訪れるひとに魅力を語れるまち
- ・ 魅力的なガイドを提供することで訪れるひとの増加に繋がるまち

- ・ 豊かな地域資源を通じ、訪れるひとが他では得られない「ならでは」の体験ができ、何度も訪れたくなるまち
- ・ 未利用の地域資源が新たな地域の魅力になるまち
- ・ 地域資源の魅力だけでなく生業や人の魅力を知り、移り住みたくなるまち



※ 現段階では、各市町ヒアリングでの提案を中心に盛り込んでいきます。ビジョン確定後、「ビジョン達成のためにできる行動は何か」の視点でさらに意見を募り、内容を充実させ、行動計画に反映させます。



ビジョン実現のための行動 | **守る** ~ 心休まるまち ~

- ◆自然資源を守り、いつまでもその恩恵を授かり続けるまち
地域資源の価値への理解を促し、まち全体で保全に取り組む意識づくりを進めるとともに、価値あるサイトを次世代に引き継いでいくため、サイト保全計画を確実に遂行する体制づくりを推進する
- ◆住むひと、訪れるひと、もてなすひとが環境配慮型の行動を取れるまち
観光において、来訪者も受け入れる側も環境配慮型の行動に移る仕組みを築き、観光公害の発生を防ぎ、持続的に発展していける地域づくりに繋げる
- ◆火山噴火を始めとした様々な自然災害を知り備えることで、リスクを軽減し、安心して暮らし続けられるまち
火山噴火を始めとした様々な自然現象に対応するための備えについて普及促進し、安心して住み続けられるまちづくりを進める



Ex. ジオサイト保全計画の作成
箱根ジオパークで見られる地球活動の痕跡を調査し、後世に残すための保全計画を作成します。

みんなで守ろう



Ex. 仙石原湿原のヨシ刈り
箱根町仙石原の「仙石原湿原」では、湿原固有の植物にとって好ましい生育環境を維持していくために、アシ（ヨシ）という植物だけを刈り取り、湿原植物群落の草原化を防ぐ活動を行っています。

※ 現段階では、各市町ヒアリングでの提案を中心に盛り込んでいきます。ビジョン確定後、「ビジョン達成のためにできる行動は何か」の視点でさらに意見を募り、内容を充実させ、行動計画に反映させます。

ビジョン実現のための行動 2 繋げる ～交流あふれるまち～

- ◆地域住民が広く交流し、互いに助け合って、いくつになっても生き生きと暮らしていけるまち
講座やワークショップ、保全活動、清掃活動など、地域で知り合い、繋がるきっかけや集える場所を提供することで、交流を深め、助け合える関係を築き、安全・安心な暮らしに繋げる
- ◆地域の事業者や団体、自治体が連携し合うことで、相乗効果が生まれ、効果的な情報発信、魅力的な商品開発を実現するまち
観光事業者などの地域事業者やDMO、地域団体、自治体などが連携して、それぞれの魅力を集約したツアー・イベントなどの商品開発や情報発信などを進めることで、1+1が3にも4にもなる相乗効果を持って地域全体の発展に繋げる
- ◆歴史、伝統文化などが次世代へ引き継がれていくまち
歴史、伝統文化などを子どもや移住者、来訪者が知り、体験できる場を設けるなど、次世代に引き継がれる仕組みを作る



Ex. 伝統文化体験ワークショップ
地域の伝統文化を見直す場を創出し、集まるきっかけや様々な活動を通じ、交流を深めます。

繋ごう
箱根ジオパーク
の輪！



Ex. 箱根ジオパーク認定特産品
地域の素材や技法を活用して開発した商品を実証特産品に認定し、地域内外に魅力を発信します。

※ 現段階では、各市町ヒアリングでの提案を中心に盛り込んでいます。ビジョン確定後、「ビジョン達成のためにできる行動は何か」の視点でさらに意見を募り、内容を充実させ、行動計画に反映させます。

ビジョン実現のための行動 3 伝える ～魅力を楽しく語れるまち～

◆地域の良さ・特性を子どもたちに伝えることで郷土に対する愛着と誇りが育まれるまち

ジオパークについての住民や事業者、教職員向け研修の充実など、地域の良さ・特性を生かした学びを子どもたちに提供できる環境づくりに努め、子どもたちの地域への関心と郷土愛の醸成に繋げる

◆地域に暮らすひとが地元を理解し、訪れるひとに魅力を語れるまち

学校教育だけでなく社会教育やイベントなどにおいて、地域について学べる場を広く提供することで、地域で暮らすひとみんながこの地域に愛着と誇りを感じ、来訪者にその魅力を語りたくなる気持ちを育む

◆魅力的なガイドを提供することで訪れるひとの増加に繋がるまち

地域の魅力を伝える役割の担い手であるガイドが自ら成長し習熟していく環境を整えることで、魅力的なガイドを提供し再訪意欲に繋げる



Ex. 夏休み子どもジオ講座の開催
地域内の自然に触れ合う機会を創出し、郷土愛の醸成に繋がります。



Ex. 箱根ジオパークガイド養成講座の開催
専門的な話を楽しく伝えるため、博物館学芸員等を講師としてガイドの知識向上を図り、ガイドならではの視点で来訪者を楽しませる伝え方を考えます。

※ 現段階では、各市町ヒアリングでの提案を中心に盛り込んでいきます。ビジョン確定後、「ビジョン達成のためにできる行動は何か」の視点でさらに意見を募り、内容を充実させ、行動計画に反映させます。

ビジョン実現のための行動 4 活かす ～訪れるひとが「ならでは」の体験ができるまち～

- ◆豊かな地域資源を通じ、訪れるひとが他では得られない「ならでは」の体験ができ、何度も訪れたいくなるまち
豊かな地域資源を再生可能な形で活かした、興味を引くコンテンツ（イベント・ツアー・グッズ）を造成し、来訪者に「ならでは」の体験を提供、何度来ても飽きることのない地域として発展し続ける
- ◆未利用の地域資源が新たな地域の魅力になるまち
傷ついた農産物・海産物などの未開発・未利用な資源を発掘し、新たな地域の魅力に繋げる
- ◆地域資源の魅力だけでなく生業や人の魅力を知り、移り住みたくなるまち
農業、漁業などの生業やこの地域で暮らす人の魅力を発信し、移住促進につなげる



Ex. ジオツアーの開催

「ならでは」の魅力を来訪者に体験してもらうために、ガイドによるツアーを実施しています。また、オンラインを活用することで、だれもが楽しめるユニバーサルツアーを提供します。



11



Ex. 農業や漁業の魅力発信

ジオツアーや講座等で生産者に登場してもらい、地域の魅力や仕事への思いを伝えていただきます。

6 今後の流れ

箱根ジオパーク ビジョン パブリックコメント

[令和5年3月31日（金）～5月1日（月）実施]

箱根ジオパーク推進協議会 幹事会により最終案決定

箱根ジオパーク ビジョン策定

[令和5年度総会（令和5年5月30日予定）にて策定予定]

「ビジョン実現のための4つの行動（仮）」を基に具体的な取組み内容と道筋を議論し、「行動計画」に反映させます

社会情勢の変化等を踏まえ必要に応じてPDCAサイクルにより柔軟に見直しを行うこととします